

広報 ほうじょう

春休み
 特集号
 方中城小町
 青少年問題協議会

＝町ぐるみで子どもの
 健全育成をはかるために＝
 わたしの家庭では守ります。

- ◎小学生は友達だけで町外へだしません。
- ◎夜間の外出・外泊・夜あそびはさせません。
- ◎バイクの暴走運転はさせません。

- ◎小学生は友達だけで町外へだしません。
- ◎夜間の外出・外泊・夜あそびはさせません。
- ◎バイクの暴走運転はさせません。

『あいさつ運動』の ご協力を

○おうちのなかで みんなに

「おはよう」

「こんにちは」

「こんばんは」

「おやすみ」

○近所の人にも 町内の方々にも

「おはよう」

「こんにちは」

「こんばんは」

（保育園児・小学生・中学生が
 実施中です。）



青少年の問題行動が、最近では
 個から集団化へ進み、しかも特徴
 的傾向として、家庭内暴力や校内
 暴力の激発と、大きな社会問題に
 なって来ました。

**青少年の健全育成を
 みんなで考えよう**
 方城町青少年問題協議会々長 中島義章

この一年
 間に四七
 〇件に達
 し、全国
 第二位と
 新聞報道
 されています。

庭や親の子育てにあるとか、人の
 せいにして、お互いに責任を回避
 していいものではないか。
 これからの明るい社会を築いて
 いく上で、青少年の健全育成は全
 ての、大人たちの責務ではないで
 しょう

こうした傾向について「わが子
 に限って」と、まるで他人事のよ
 うに考えてはられません。

また、その原因が現代社会にあ
 るとか、学校教育にあるとか、家

を託すにふさわしい人間づくりに
 今こそ、全ての町民が目覚め、
 起ちあがる時ではないかと考えま
 す。

町ぐるみで、青少年の健全育成
 に取り組もうではありませんか。

われわれも
 方城町
 の将来

春休みを楽しくすごすために 方城中学校・伊方小学校・弁城小学校

子どもたちが楽しみにしていた春休みが始まりました。今までの学年が終わり、新しい学年へ進むので、気持ちがうきうきしてきます。思わぬ事故や問題がおこりがちです。短い期間ですが、次のことに気をつけ安全で楽しい春休みにしましょう。

伊方・弁城小学校

■春休みを、たのしくすごすため、つぎの六つのやくそくをしっかりと、まもりましょう。

一、自分の力で学習しよう。
○自分の机の中などの整理をして新しい学年で使うもの、いらなくなったものなどを、まとめましょう。
○今までの学年の復習をしましょう。
○読書など自分のすきな勉強をしましょう。

二、きまり正しい生活をしよう。
○朝ねぼうや夜ふかしはやめましょう。
○毎日のお手伝いをきめて実行しましょう。
○外出するときは、行き先など家人のとどけましょう。
○午前十時前と午後五時すぎの外

出はやめましょう。
○町外へは友達だけで、でかけないようにしましょう。
○むだづかいをしないようにしましょう。
○家の人や近所の人たちに、あいさつをしましょう。

三、安全な生活をしよう。
○自転車の二人のりや手ばなしはやめましょう。
○道路、池、川など、きけんな場所、遊ばないようにしましょう。
○火のとおりあつかに気をつけましょう。

四、健康に気をつけよう。
○家の中にとじこもらないで、外で元気に遊びましょう。
○毎日、次のことを実行しよう。
歯みがき、顔あらい、手伝い、うがい。
○からだのわるいところは、この休み中になおしましょう。

一、生活について

(1) 学習
○不得手な教科は復習をして力をつけよう。
○勉強は午前中にしよう。
○長所や趣味をのぼすよう、心がけよう。

二、町民の方々へお願い
中学生として非行をあげますとおよそ、次のようなことがらです。

(1) 喫煙（公民館の裏側や墓地など、人通りの少ない場所）
(2) バイクの無免許運転（夜中や人目のつかない林道など）
(3) 夜遊び。
(4) 自転車の二人乗り。

などの行為がありましたら、わが子でなくても、みんなご注意ください。よろしくお願いいたします。

親が知らないうちに
子どもは
別世界に……

■始業式
四月六日
弁城小学校
伊方小学校
方城中学校

■入学式
四月八日
弁城小学校・伊方小学校
四月九日
方城中学校

しつけのポイント

(その一)

幼児時代

■ことばのしつけ
聞かせることよりも子どもの話を聞いてやること。個人差が、大きいので、他の子どもと比較してあせらないうようにすること。

■運動機能
4・5才の子どもにはあばれまわる場を与える。屋内より

子育て

耐える子・強い子・考える子

3才〜5才は泣いたり、笑ったり感情が敏感であり、人間の基本となる感情の芽が出せよう、2才〜4才は反抗期、甘やかさず、抑えつけず接することが大切。
■社会的なしつけ
チャンス逃さないこと、家庭

万引きがこれだけ
おこなわれています
田川警察署管内

田川署管内で、小中高生による万引が異常に増加し、昭和五十六年一月〜二月の二カ月間に63名が補導されています。特に遊び型の非行が多くなり、しかも、低

■生活習慣のしつけ
食事、排泄、睡眠、脱ぎ着清潔、安全など生活の基礎となる習慣づくりのときである。子どもの個人差と準備態勢を考慮して指

質問時代のしつけ
知的発達が発達期になって現われる。納得のいくまで答えてやるのが大切である。

昭和55年小中高校生の万引少年実態調査表

区分	学級別						
	小学生	中学生	高校生	計			
曜日	日	13	30	3	46		
	月	2	6	3	11		
	火	6	11	7	24		
	水	1	5	1	7		
	木	3	13	3	19		
	金	2	8	5	15		
	土	7	12	7	26		
	計	34	85	29	148		
	時間別	午前		14	3	17	
		午後	34	71	26	131	
		計	34	85	29	148	
		場所別	駅前	34	79	29	142
			その他		6		6
計			34	85	29	148	
月別	1		2	3	4	9	
	2		4	7	4	15	
	3		3	15	5	23	
	4		4	3	7		
	5	2	2	1	5		
	6	1	10	2	13		
	7	2	4	2	8		
	8	2	10	4	16		
	9	2	8		10		
	10	3	4	2	9		
	11	6	8	1	15		
	12	7	10	1	18		
計	34	85	29	148			

親と子の問題

○「子供は親の言う通りにならずする通りを見習って育つ」
「子供は親の姿を写す鏡」といわれるのは、非行問題の根が親にある事を示していると共に、実践をとまなわぬ口先だけのしつけの無力をのべている。
○子供の非行化の原因をたずねてゆくと、夫婦の不和による家庭の乱れの事実が一番多くつきあ問題少年といふけれども、問題家庭が先で、少年は問題親の被害者。
○三つ児の魂百まで。
幼時から善悪のけじめをきびしく教え、叱るべき時は叱り、善い点は認め、ほめはげまし、善い事をした喜びを味わせるべきだ。叱りもせずほめもせぬ無関心と放任の中で育つた子は、精神的カギツ子、孤独感と欲求不満が非行にかりたてる。
○子どもの前で先生や夫（妻）のわるい口を言うことは禁もつ。
母（父）は常に父親（母親）の立派さ、すばらしさを子どもに語りかけるべきで、そこに親（教師）の権威が育つ。
尊敬と信頼のないところに教育はない。

非行を見たらここに連絡を

- 方城派出所 二三三
- 金田派出所 〇一一〇
- 方城町中央公民館 四三〇〇
- 永岡清 〇四六二
- 手島直倫 〇五五四
- 福高也 〇二七七
- 手島秋信 〇〇四一
- 中村良一 二四二三
- 葛原ハツ子 三〇七二
- 財津政義 〇七二〇
- 古賀邦明 〇一九二
- 方城中央学校 〇三三七
- 伊方小学校 〇二二七
- 弁城小学校 〇二二九